

書 評

メキシコ法概観

(Panorama del Derecho Mexicano)

横 田 一 太 郎

ラテン・アメリカ諸国は共通の言葉（スペイン語、ブラジルはポルトガル語、ハイチはフランス語）と文化を有しており、独立当時の政治的環境、風土等の諸条件によって類似の経済構造、社会構造、国民性が形成されていると考えられる。

一般的に看ればラテン・アメリカ諸国の私法は大陸法系に属しているが、公法は北方に隣接するコモン・ロー法系の合衆国の影響を多分に受けている。特にラテン・アメリカ諸国の憲法は合衆国憲法典の示唆を受けて制定されている。

ラテン・アメリカ諸国は独立後既に一五〇年以上を経過しており、一部には既に農業国から工業国へと躍進を続けている国（たとえばメキシコ、アルゼンチン、ブラジル）もあり、他方ではモノカルチュアアの段階に留まっている国（たとえばグワテマラ、エクアドル）もあって、経済的格差も著しいものがある。

メキシコ法概観

る。

メキシコ共和国は経済的には既に take off をした国と云われている。

この度メキシコ比較法研究所から発刊された「メキシコ法概観」（原名 Panorama del Derecho Mexicano）はメキシコの経済発展計画とからめて、同国の法律制度を総合研究するうえで貴重な基礎資料と云えるだろう。

本書は、序文において述べられている通り一九六三年国際法学協会（La Asociación Internacional de Ciencia Jurídica）が René David, Hamson, Yntema 其の他の比較法学者の提案に基いて、メキシコの法体系或は法律制度の説明をなすよう勧告され、これに応じて、メキシコ比較法研究所が「メキシコ法の概観」として発刊したものである。

本書は二巻より成り、コモン・ロー法系の学者にも、大陸法系の学者にも、メキシコ法の概括を知るためのよい道しるべとなるように、メキシコ法学界各分野の専門家により執筆されており、メキシコ法の案内書として絶好のものと思われる。

各科目の章別及び執筆者が列挙する参考文献を挙げれば次の通り。

## 第一部 メキシコ国憲法概説

### (Síntesis de Derecho Constitucional)

メキシコ自治大学法学部 Daniel Moreno 教授執筆

## 第一章 歴史的概観

第二章 共和国憲法、現行憲法は一九一七年二月五日に憲法議會で採択され同年五月一日に施行された。

この憲法においては伝統的に使用されていた基本的人権 (los derechos del hombre) と云う言葉は、「個人の保障」(Garantías Individuales) と云う言葉に代えられ自由平等の理念が自然法 (derecho natural) に基いて、行政権の権限を制限するという新しい考えを制度化している。憲法第一条は「メキシコ合衆国に於ては、凡ての個人はこの憲法の与える保障を享受し、この保障は憲法の定める場合と条件によらなければ制限したりまたは停止することを得ない」と定めている。

連邦政府の政治形態は、立法、行政および司法の三権に分け

られている。

## 第三章 国籍及び市民権 (Nacionalidad y Ciudadanía)

(一) 出生による国籍取得については、Jus soli (属地主義) 及び Jus sanguinis (属血主義) の折衷の主義を採っている。すなわち (i) 両親の国籍のいかに問わず共和国で出生した者、(ii) 外国において、メキシコの両親より出生した者、メキシコ人の父及び外国人の母より生れたる者、または、メキシコ人の母から出生し、父の不明の者、(iii) 軍用或は民間用いかに問わず、メキシコの艦船或は航空機内において出生したる者は、メキシコ国籍を取得する。

(二) 帰化による国籍取得については、(i) 外務省 (la Secretaría de Relaciones) から帰化証明書 (Carta de naturalización) を取得した者及び、(ii) メキシコ人と結婚した外国婦人でメキシコ国内に住所 (domicilio) を有する者の二つの場合を定めている。

## 第四章 選挙権 (sufragio)

### 第五章 三権分立

### 第六章 立法権 (Poder Legislativo)

メキシコ合衆国の立法権は上院 (Senadores) 下院 (Diputados) からなる議會 (Congreso) に属している。

## 第七章 行政権は大統領 (El Presidente de la República)

に属する。大統領は出生によるメキシコ市民で満三五歳以上の者が直接選挙により選出される。任期は六年である。

第八章 司法権 (Poder Judicial) は最高裁判所 (Suprema Corte de Justicia) 巡回裁判所 (Tribunales de Circuit) 及び区裁判所 (Juzgados de Distrito) に帰属する。

第九章 憲法の擁護 (Defensa de la Constitución)

第一〇章 連邦制度 (Régimen Federal)

第十一章 国家と教会 (El Estado y la Iglesia)

第十二章 憲法改正 (Reformas Constitucionales)

参考文献 (憲法)

José M del Castillo Velasco. 「メキシコ憲法学ノート」メキシコ市 1879

Mariano Coronado. 「メキシコ憲法要綱」クアダラハローラ

1899

Mario de la Cueva. 「憲法」教養蔵書 メキシコ市 1961

José M. Gamboa. 「十九世紀のメキシコ憲法」メキシコ市

1901

Enrique González Flores. 「憲法便覧」エヌエル・ホルーア

書店 1958

Manuel Herrera y Lasso. 「憲法研究」ボリス出版社 1940

Miguel Lanz Duret. 「メキシコ憲法」メキシコ市 1951

メキシコ法概観

Serafín Ortiz Ramirez. 「メキシコ憲法」メキシコ市 1961  
(歴史的展望、個人の保障、人身保護裁判所)

Emilio Rabasa. 「メキシコの政治機構」(憲法と独裁) 1917  
ベドリアン・アメリカ出版社

Ramón Rodríguez 「憲法」(陸軍士官学校生徒用教科書) 第二版 メキシコ市 1875

Felipe Tena Ramírez. 「メキシコ憲法」メキシコ市ボレーン出版社 1961

Felipe Tena Ramírez. 「メキシコ基本法律 (1803~1957) 第二版」出版社 1957

Juan de la Torre. 「メキシコ憲法研究指針」メキシコ市 1886

Jorge Vera Estañol 「一九一七年憲法の限界」ロスアンジェルス ウエイサイド出版社 1920

第二部 行政法概説

(Síntesis del Derecho Administrativo)

メキシコ自治大学法学部 Cabino Fraga 教授執筆

第一章 序説 (Introducción)

第二章 行政組織 (Organización Administrativa)

第三章 行政活動 (Actividad Administrativa)

一八五

第四章 財政制度 (Régimen Fiscal)

第五章 国有財産制度 (Régimen Patrimonial)

第六章 行政裁判 (Justicia Administrativa)

参考文献 (行政法)

José Algara. 「行政訴訟の歴史」 法律及判例雜誌 1889

Narciso Bassols. 「新農業法」メキシコ市 1927

Flores A. Carrillo. 「行政に対する個人の法的保護」メキシ

コ市 1939

José María Castill Velasco. 「メキシコ行政法雜感」メキシ

コ市 1874

Manuel Cruzado 「行政法の基礎」メキシコ市 1895

Asante R. Chellet. 「メキシコ共和国行政組織と政治」メキ

シコ市 1935

Gabino Fraga 「行政法」第一〇版メキシコ市 1963

Manuel Fraga M. 「行政と公共事業」メキシコ市 1955

Nicéforo Guerrero. 「行政法ノート」グアナフアター 1929

Teodosio Lares. 「行政法教程」メキシコ市 1852

Jorge Olinera Toro 「行政法必携」メキシコ市 1963

Jacinto Pallares. 「メキシコ民法補足連邦法」メキシコ市

1897

Eduardo Ruiz. 「憲法と行政法」メキシコ市 1888

Andres Serra Rojas. 「行政法」メキシコ市 1961

Carlos Trejo Lerdo de Tejada. 「メキシコ行政法」成立と

発展 1810～1910

Salvador Urbina. 「行政法ノート」メキシコ市 1906

Ignacio Vallarta. 「請願」メキシコ市 1894

Gustavo R Velasco. 「メキシコ行政法の発展」(1912～1942)

Jorge Vera Estañol 「憲法上の諸問題」メキシコ 1923

Francisco Zarco 「市憲法制定議會の歴史」メキシコ市 18

57

第三部 保護訴願法概説

(Síntesis del Derecho de Amparo)

比較法研究所 Hector Fix Zandino 研究員執筆

第一章 歴史的概観

第二章 保護訴願審判機構と手続の発展

第三章 現行制度

第四章 保護訴願の機構

第五章 保護訴願手続当事者

第六章 訴願の目的

第七章 保護訴願の却下及び棄却

第八章 訴願手続

第九章 仮決定

第一〇章 判決

第十一章 苦情代替

第十二章 控訴

第十三章 判例

第十四章 保護訴願法審判関係者の責任

参考文献(保護訴願法)

一、古典的参考著書

Federico M del Castillo Velasco「保護訴願裁判の起原と審

理」メキシコ市 1899

Francisco Cortés「誰にどのような保護訴願」メキシコ市

1907

José María Iglesias「裁判所の権限に関する憲法上の研究」

メキシコ市 1874

José María Lozano「基本的人権論」メキシコ市 1876

Ignacio Mariscal「保護訴願裁判に関する考察」メキシコ市

1878

Miguel Mejía「憲法上の過失」メキシコ市 1886

Isidro Montiel Duarte「メキシコ公法」第一卷 1871 第二

三卷 1883 第四卷 1871

Silvestre Moreno Cora「連邦裁判所の判決による保護訴願

メキシコ法概観

論」メキシコ市 1902

Jacinto Pallares「司法権」メキシコ市 1874

Emilio Rabasa「憲法第一四条の研究」メキシコ市 1906

Emilio Rabasa「憲法上の裁判」メキシコ市 1919

Emilio Rabasa「憲法と独裁」メキシコ市 1956

Isidro y García Rojas Francisco Pascual「保護訴願法への

改正」メキシコ市 1907

Manuel Ruiz Sandoral「保護訴願裁判の訴訟手続」メキシ

コ市 1896

Demetrio Sodi「連邦訴訟手続」メキシコ市 1912

Ignacio Vallarta「保護訴願裁判と人身保護令状」メキシコ

市 1881

Ignacio Vallarta「投票権」第二版第一、二卷 1894 第三

卷 1896 第四卷

Fernando Vega「新保護訴願法」メキシコ市 1883

一、最新出版著書

Miguel Alariste de la Fuente「保護訴願裁判と民事破棄

控訴」メキシコ市 1948

Mariano Azuela「法律違反に対する保護訴願の研究」ハラ

ーベ市・ラクトルス法律雑誌 1957年3月号

Narciso Bassols「保護訴願に関する最高裁の差戻及び破棄」

一八七

- メキシコ市 1930
- Ignacio Burgos 「保護訴願裁判」メキシコ市 1962
- Ignacio Burgos 「農業事件における保護訴願」メキシコ市 1964
- Antonio Carrillo Flores 「行政に対する個人の防衛」メキシコ市 1939
- Juventino Castro 「保護訴願裁判における苦情の代替」メキシコ市 1953
- Ricardo Couto 「保護訴願停止論」メキシコ市 1957
- Carlos A Echánove Trujillo 「シレスセンシオ・レホンの精神的不安な生活」メキシコ市 1941
- Carlos A. Echánove Trujillo 「メキシコ保護訴願訴訟」メキシコ市 1949
- Héctor Fix Zamudio 「メキシコ裁判権の研究」メキシコ市 1961
- Héctor Fix Zamudio 「保護訴願裁判」メキシコ市 1964
- Jorge F Mariano Otero Gaxiola 「保護訴願裁判の創設者」 1937
- Octavio A. Hernández 「メキシコ合衆国憲法」メキシコ市 1946
- Miguel Lanz Duret 「メキシコ憲法及び政治の実態に関する考察」メキシコ市 1959
- Aurelio de León 「保護訴願便覧」メキシコ市 1934
- Romeo León Orantes 「保護訴願裁判」プエブラ市 1957
- Ramón J. Palacios 「最高裁判所と違憲法律」メキシコ市 1962
- Ramón J. Palacios 「保護訴願制度」プエブラ 1963
- Manuel Rangel y Vázquez 「法律の合憲性維持及び連邦における保護訴願訴訟」メキシコ市 1952
- Rodolfo Reyes 「憲法の擁護」マドリード市 1934
- Alejandro Ríos Espinoz 「保護訴願と判決放棄」メキシコ市 1960
- Rómulo Rosales Aguilar 「保護訴願の裁判書式」メキシコ市 1956
- Mario Somohano Flores 「保護訴願裁判における異議申立停止論」メキシコ市 1928
- Ignacio y Liévana Palma, Gilberto Soto Gorda 「保護訴願裁判における異議申立停止」メキシコ市 1959
- 最高裁判所「ドン・ペメヘル・グレスセンシオ・レホンに対し敬意表明」メキシコ市 1960
- Felipe Tena Ramírez 「メキシコ憲法」第七版メキシコ市 1964

- Felipe Tena Ramírez「基本的人権保護手段、メキシコ保護  
 訴願」法律通信時報第一六九号一九六一年九月  
 Luis del Toro Calero「農事関係保護訴願裁判」メキシコ市  
 1964  
 Gaspar Trigo「労働問題における保護訴願停止」メキシコ市  
 1940  
 Jorge Trueba Barrera「労働問題に関する保護訴願裁判」  
 メキシコ市 1963  
 Alberto Trueba Urbina, Jorge Trueba Barrera「新保護訴  
 願制度」(学説と判例)メキシコ市 1964  
 Carlos Villegas Vazquez「保護訴願裁判における異議申立  
 停止事件」メキシコ市 1959
- 第四部 農業法概説  
 (Síntesis del Derecho Agrario)  
 メキシコ自治大学法学部 Mendieta y Núñez 教授執筆  
 はしがき  
 第一章 メキシコにおける土地の所有と配分の歴史  
 第二章 農業改革  
 第三章 農業改革の法的規制  
 第四章 現行農業法典 (i)実体法

メキシコ法概観

- 第五章 現行農業法典 (ii)手続法  
 第六章 現行農業法典 (ii)エヒード関係手続法  
 第七章 国民農業登記  
 第八章 農事関係罰則  
 第九章 農業改革補足法  
 参考文献(農業法)  
 一、アメリカ大陸発見前の時期  
 Orozco y Berra「古代歴史とメキシコ征服」1880  
 J. Kohler「アメリカ法」法律自由学校 1924  
 Mendieta y Nuñez Lucio「アメリカ発見以前の法」  
 二、植民地時代  
 植民地法令集 (Recopilación de las Leyes de Indias)  
 Francisco F. de la Maza「植民地法典及び共和国の未開墾  
 地」  
 Manuel Payno「土地所有論」メキシコ市 1869  
 E. Pallares「メキシコ民法補足法」メキシコ市 1897  
 三、現代  
 一九四二年十二月三十一日付農業法典 (Código Agrario)  
 Moína Enriquez Andrés「メキシコの重大問題」1909  
 González Roa Fernando「メキシコ革命と農業部門」  
 Mendieta y Núñez Lucio「メキシコ農業問題」八版メキシ

コ市ポルーパー書店 1964

Mendieta y Núñez Lucio 「農業法研究案内」メキシコ市ポルーパー書店

Mendieta y Núñez Lucio 「憲法における農業制度」メキシコ市ポルーパー書店

## 第五部 労働法概説

(Síntesis del Derecho del Trabajo)

メキシコ自治大学 Mario de la Cueva 法学部教授執筆

### 第一章 労働法の歴史

### 第二章 メキシコ労働法の歴史的説明

### 第三章 一九一七年憲法における社会宣言の動機

### 第四章 社会法宣言の本質

### 第五章 一般制度

### 第六章 労働に対する個人の権利

### 第七章 企業利益への労働者参加

### 第八章 婦人および未成年者の労働

### 第九章 社会保障

### 第二〇章 労働に関する団体交渉権

### 第二十一章 労働関係諸官憲

(労働法に関する参考文献の記述なし)

## 第六部 刑法概説

(Síntesis del Derecho penal)

メキシコ自治大学法学部 Fernando Castellanos 教授執筆

### 第一章 メキシコ刑法の史的発展

### 第二章 刑法の法典化

### 第三章 刑法の来歴

### 第四章 メキシコ刑法の統一化 (連邦刑法州刑法)

### 第五章 刑法の問題点

### 第六章 刑罰機関

### 第七章 裁判権と権限

### 第八章 一九三一年刑法法典の内容

### 第九章 メキシコ刑法関係主要著書

一' Demetrio Sodi 「我国刑法」(一八七一年刑法)

二' José Almaraz 「犯罪動機の研究」(一九二九年刑法)

三' Alfonso Teja Zabre 「犯罪動機の研究」(一九三一年刑法)

刑法)

José Angel Ceniceros 「同上問題に就き」

四' Luis Garrido 「メキシコ刑法」

五' Francisco Gonzales de la Vega 「メキシコ刑法解釈」

六' Raúl Carranca 「刑法総論」

七' Trujillo 「メキシコ刑法」



参考文献(刑法)

- Ricardo Abarca「メキシコ刑法」メキシコ市フス出版社  
1941
- Julio Acero「刑事訴訟法」グアダラハラ市フオント出版  
社 1939
- Carlos H. Alba「メステカ法及びメキシコ実定法比較研究」  
メキシコ市 米州土着文化研究所出版 1949
- Nieto Alcalá Zamora y Castillo「刑事訴訟法講義要綱及  
び基本的研究文献」メキシコ市 アルデイーナ印刷会社  
1957
- José Almaraz「刑法典における動機に関する解説」メキシ  
コ市 1931
- Constancio Bernaldo de Quirós「犯罪学」プエブラ市 ホ  
タ・ホメ・カヒーカ 1948
- Raúl F. Cárdenas「メキシコ刑法」メキシコ市フス出版社  
1962
- Francisco Carrara「刑法講義要綱」ボッタ市デミス出版社  
1959
- Raúl Carrancá Trujillo「メキシコ刑法」メキシコ市ロブレン  
ー 1955
- Raúl Carrancá Trujillo「刑法典註釈、用語索引、判例、外  
メキシコ法概観
- 国法との比較を含む」メキシコ市ロブレド書店 1962
- Fernando Castellanos Tena「刑法の基礎概論」(総論)メ  
キシコ市メキシコ法律出版社 1959
- José Ángel y Garrido, Luis Ceniceros「メキシコ刑法」メ  
キシコ市ポータス出版社 1934
- A. Chanero「征服の歴史」メキシコ市クンブレ出版社 1956
- Guillermo Colín Sánchez「メキシコ刑事訴訟法」
- Fugenio Cuello Calón「刑法」ベルセローナ市 1947
- ToribioEsquivel Obregón「メキシコ法制史ノート」メキシ  
コ市ボリス出版社 1937
- Luis Fernandez Doblado「有責性と錯誤」(刑法定説試案)  
メキシコ市 1950
- Ricardo Franco Guzmén「犯罪と不正行為」(違法性構成の  
概念)メキシコ市 1950
- Carlos Franco Sodi「刑法概論」(総論)メキシコ市ポータ  
出版社 1950
- Carlos Franco Sodi「メキシコ刑事訴訟法」メキシコ市ボル  
ニア出版社 1946
- Rafael Garófalo「犯罪学」バリー市 1890
- Juan José González Bustamante「小切手に関する商事銀行  
関係と刑法上の保護」メキシコ市ボルニア出版社 1961

- Juan José González Bustamante 「メキシコ刑事訴訟法原論」三版メキシコ市ポルーフ出版社 1959
- Francisco González de la Vega 「メキシコ刑法」(犯罪)六版メキシコ市ポルーフ出版社 1961
- Francisco González de la Vega 「註釈刑法」メキシコ市合同出版社 1939
- Luis Jiménez de Asúa 「法律と犯罪」(刑法原論講義)カラカス市アンドレベーム出版社 1945
- Mariano Jeménez Huerta 「犯罪概説」(行為なければ犯罪など)メキシコ市メキシコ自治大学 1950
- Mariano Jiménez Huerta 「違法性」メキシコ自治大学 1952
- Mariano Jiménez Huerta 「定型性」メキシコ市ポルーフ出版社 1955
- Mariano Jiménez Huerta 「メキシコ刑法」(生命と身体に関する刑法上の保護)メキシコ市ロブレッス書店 1958
- Miguel S. Macedo 「メキシコ刑法史ノート」メキシコ市クルシーラ出版社 1931
- Antonio de P. Moreno 「メキシコ刑法講義」(特殊犯罪)メキシコ市フス出版社 1944
- Ramón J. Palacios 「未遂行為」メキシコ自治大学 1951
- Francisco Pavón Vasconcelos 「メキシコ刑法概論」メキシコ法律出版社 1961
- Francisco Pavón Vasconcelos 「刑法註釈」(窃盗、横領詐欺)メキシコ法律出版社 1960
- Javier Piña Palacios 「刑事訴訟法(刑法上の保護ノート)」メキシコ刑務所印刷所 1948
- Celestino Porte Petit 「メキシコ比較刑法制度」(総論)パラーン市 1946
- Celestino Porte Petit 「刑法総論要綱」メキシコ市メキシコ自治大学 1958
- Celestino Porte Petit 「刑法理論の重要性」メキシコ市汎米印刷有限会社
- Celestino Porte Petit 「生命及び身体に対する犯罪」
- Francisco Javier Ramos Bejarano 「着手未遂行為」
- Manuel Rivera Silva 「刑事訴訟法」三版メキシコ市ポルーフ出版社 1963
- Demetrio Sodi 「わが国刑法」訂正増補第二版メキシコ市ブーン書店 1917
- Alfonso Teja Zabre 「連邦法に関する刑法典の動因解説」メーヌ 1938
- George Clapp Vaillant 「メステカ文化」メキシコ市経済文

化蔵書 1955

Ignacio Villalobos 「メキシコにおける刑法の危機」メキシコ市フス出版社 1948

Ignacio Villalobos 「犯罪の法的概念」メキシコ市フス出版社 1952

Ignacio Villalobos 「犯罪の動勢」メキシコ市フス出版社 1955

Ignacio Villalobos 「メキシコ刑法」(総論)メキシコ市ポループ出版社 1950

## 第七部 民法概説

(Síntesis del Derecho Civil)

メキシコ比較法研究所研究員 Aguilar Gutiérrez 氏執筆

第一章 メキシコ民法の史的展望

第二章 民法一般論

第三章 人 (A) 自然人 (B) 法人

第四章 親族 (la familia)

第五章 物 (los bienes)

第六章 債権 (las obligaciones)

第七章 契約 (los contratos especiales)

第八章 一般登記 (el registro público)

メキシコ法概観

(法律行為の公示性)

第九章 相続 (las sucesiones)

参考文献 (民法)

Antonio Aguilar Gutiérrez 「契約の発展」比較法研究所雑誌一九五五乃一月至四月

Antonio Aguilar Gutiérrez 「契約の準備と締結及び契約締結前の責任」比較法研究所雑誌一九五〇年乃一月至四月

Antonio Aguilar Gutiérrez 「契約の準備及び契約の締結」比較法研究所雑誌一九五〇年乃一月至四月

Antonio Aguilar Gutiérrez 「自動車損害責任」国立法律学校雑誌一九四四年 7~12

Antonio Aguilar Gutiérrez Julio Derbez Muro 「メキシコ民事法制の展望」メキシコ大学出版局 1950

Emilio Beeti 「法律上の取引に関する一般理論」マドリッド 1959

Manuel Boria Soriano 「債権一般理論」メキシコ市 1939 ~1944

J. Gastón Tobañas 「新メキシコ民法典」法律学一般雑誌 1930

J. M. Cajica 「メキシコ判例、アルファベット索引」プエンラ 1951

- Ricardo Couto 「メキシコ民法」(人)メキシコ市 1919
- Margarita de la Villa, José Luis Zambreno 「メキシコ法文獻概要」メキシコ市 1947
- Máximo H. Díay 「新民法典用語辭典」一般法律学雑誌 1931
- Agustín García Lórez 「債権授業ノート及び契約」メキシコ市 1939
- Gabriel García Rojas 「債権授業ノート」メキシコ市 1938
- Ignacio García Téllez 「メキシコ新民法典の動機、協力及び調整」メキシコ市 1932
- Trinidad García 「法研究入門に関するノート」メキシコ市 1944
- José Gomis Solar, Luis Muñoz 「メキシコ民法」序説、物権、債権一般論」メキシコ市 1948
- Mancel Gual Vidal 「債権授業ノート」メキシコ市 1939
- Manuel Gual Vidal 「危険物使用上の民事責任」国立法律学校雑誌一九四〇年 7~12
- Ernesto Gutiérrez y González 「債権論」Antonio Ibarrola 「財産と相続」メキシコ市 1957
- Luis G. Labastida 「民事会社」宗教財産の解放及び固有化に関する法律、大統領令及諸規則集」メキシコ市 1893
- 一九一六年九月十五日付所得税法
- 一九一六年十二月十四日付所得税に関する大統領令メキシコ市 1918
- Julio López de la Cerdá 「損害に関する民事責任の研究」メキシコ市 1940
- José María Lozano 「連邦直轄民法典」メキシコ市 1872
- Miguel S. Macedo 「連邦直轄区及び低カルフォルニア領土の民法研究資料」メキシコ市 1884
- Pablo Macedo 「民法の発展」メキシコ市 1942
- Manuel Mateos Alarcón 「メキシコ民法講義」六卷 1885~1900
- Manuel Mateos Alarcón 「メキシコ独立以来の民法の発展」メキシコ市 1911
- Francisco Messineo 「民商法便覧」八卷ブエノス・アイレス 1954
- Jacinto Pallares 「法廷に於て屢々適用され、法典化されなう法律」メキシコ市 1892
- Rafael de Pina 「メキシコ民法の基盤」メキシコ市 1956
- Marcel Planiol 「民法原論」七卷 スペイン語版ブエララ市 1947
- Jorge Reyes Tayabas 「契約改訂動機につき法外な生存者負

担ひつゝ」メキシコ市 1953

Rafael Rojina Villegas 「民法要綱」メキシコ市 1963

Francisco H. Ruig 「私法の社会化と一九二八年民法典」国

立法律学校雑誌31巻

O. Justo Sierra 「メキシコ政府提案民法典」メキシコ市 19

61

Ignacio Soto Gordoia 「民法研究序説」メキシコ市 1955

Augustin Verdugo 「Justo Sierra 博士によるメキシコ民法

典案文の改訂」二巻 1900～1903

Agustin Verdugo 「メキシコ民法の諸原則」五巻 1865～18

90

第八部 商法概説

(Síntesis del Derecho Mercantil)

メキシコ自治大学法学部 Roberto L. Manilla Molina 教授

執筆

第一章 メキシコ商法の史的説明

第二章 商事適用問題 (la materia mercantil)

第三章 商事関係法の法源 (las fuentes del derecho mer-

cantil)

第四章 商人及び商関係事項 (las personas y las cosas

メキシコ法概観

mercantiles)

第五章 商事会社 (las Sociedades Mercantiles)

第六章 流通証券 (los títulosvalor)

第七章 商事債務及び契約

第八章 商事裁判手続法 (Derecho Procesal Mercantil)

第九章 商事関係著書

A. Joaquín Rodríguez Rodríguez

(1) 「商事会社論」 (Tratado de Sociedades Mercantiles)

(2) 「商法講義」 (Curso de derecho mercantil)

Roberto L. Matilla Molina

「商事法」 (Derecho mercantil)

Jorge Barrera Grof 「商法論」 (Tratado de derecho mer-

cantil) 総則及商企業、工業所有權等に関する研究

Roberto A. Esteva, Raúl Cervantes Ahumada 「信用証券

に関する研究」

其の他 Ángel caso, Octavio y Arturo 最近では Rafael De

Pina Vara 等の著書がある。

第九部 訴訟法概説 (民事・商事・刑事)

(Síntesis del Derecho Procesal)

メキシコ比較法研究所 Niceto Alcalá-Zamora 研究員執筆

一九五

主要参考文献

一、民事訴訟法

José Becerra Bautista. 「メキシコ民事訴訟法」全三巻メキシコ市第二版 1935

José Becerra Bautista 「民事訴訟法研究入門」メキシコ市 1957

Aurelio Campillo Camarillo 「民事訴訟法ノート」ハラパ市 1939

Aurelio Campillo Camarillo 「民事訴訟原論」全八巻ハラパ市 1924〜8

Cesáreo L. González 「民事訴訟法及び関係問題ノート」全四巻ハラパ市 1914〜26

Aurelio de León 「民事訴訟要綱」メキシコ市 1941

Aurelio de León 「民事訴訟法便覧」モンテレー市 1928

Adolfo Meldonado 「民事訴訟法」(学説商事制度)メキシコ市 1947

Adolfo Maldonado 「民事訴訟法原論」メキシコ市 1934

Eduardo Mateos Alarcón 「民事訴訟論」メキシコ市 1919

Eduardo Pallares 「民事訴訟法」第一版メキシコ市 1961

Eduardo Pallares 「民事訴訟法辞典」第四版メキシコ市 1963

Rafael de Pina, José Castillo Larranaga 「民事訴訟制度」第六版メキシコ市 1963

Arturo Valenzuela 「民事訴訟法」(訴訟原論)メキシコ市 1959

二、商事訴訟法

Niceo Alcalá-Zamara y Castillo 「商事訴訟」

José R. Castillo 「実用商事提訴」(商人企業家必見)

Antonio de Jesús Lozano, Aniceto Villamar 「メキシコ商事訴訟法」メキシコ市 1902

Eduardo Pallares 「商事裁判書式集」二版メキシコ市 1946

Eduardo Pallares 「商事裁判書式及び判例集」メキシコ市 1960

Eduardo Pallares 「破産論」メキシコ市 1937

Federico Ramírez Banos 「商事裁判論」メキシコ市 1963

Joaquín Rodríguez y Rodríguez 「破産法及び支払停止等」メキシコ市 1943

三、刑事訴訟法

Julio Acero 「刑事訴訟法」ペナント 1931

Niceto Alcalá-Zamora y Castillo 「刑事訴訟法提訴順序と基礎的参考文献」メキシコ市 1957

José R. Castillo 「刑事裁判の実際」メキシコ市 1916

Guillermo Cclín Sánchez 「メキシコ刑事訴訟法」メキシコ市 1964

Juan José González Bustamante 「メキシコ刑事訴訟法」メキシコ市 1941

Javier Piña y Palacios 「刑事訴訟法」メキシコ市 1948

Manuel Rivera Silva 「刑事訴訟法」三版 1963

## 第十部 国際公法概説

(Síntesis del Dercho Internacional Público)

メキシコ比較法研究所 Madero Seara Vázquez 研究員執筆

第一章 国際法主体メキシコ国

第二章 国際関係における国際機関

第三章 メキシコ国と諸国際機関

第四章 メキシコ国領土

第五章 メキシコ国の対外政策

第六章 政府の承認

第七章 国家の国際法上の責任

第八章 国際紛争の平和的处理

## 参考文献 (国際公法)

Margarita de la Villa, José Luis Zambrano 「メキシコ法

文献」(国際法関係一三一一四三頁参照)

Manuel J. Sierra 「国際公法論」メキシコ市 1963

C. Sepúlveda 「国際公法講義」メキシコ市 1964

メキシコ国際法雑誌 一九一九年以降発刊

メキシコ外交記録 (各種研究論文) 外務省発刊 六〇巻

「条約及び協定集」メキシコ外務省発行

外務省覚え書集 毎年メキシコ外務省発行

Jorge Castañeda 「メキシコと国際秩序」メキシコ市 1956

J. A. Ceniceros 「メキシコ対外政策」メキシコ外務省発行

1935

メキシコ弁護士協会「国際法におけるメキシコの法的思考」

メキシコ市 ポルーフ書店

I. Fabela 「メキシコ革命中の外交史」二巻 メキシコ市

1958・1959

Belice 「メキシコ権利の防衛」メキシコ市 1944

Belice 「国際問題に関する見解」メキシコ市 オリオン社

A. Gómez Robledo 「ブカレリ協定」ポリス出版社 1938

C. Sepúlveda 「政府承認の理論と実際」メキシコ自治大学法

学部発行 1954

## 第十一部 国際私法概説

(Síntesis del Derecho Internacional Privado)

メキシコ自治大学法学部 José Luis Siqueiros 教授執筆

第一章 歴史的序説

第二章 メキシコの国籍

第三章 外国人の条件

第四章 法律の衝突 (los conflictos de leyes)

第五章 裁判管轄権の抵触 (Conflictos de competencia judicial)

参考文献 (国際私法) (一九三〇年以降発行)

Alberto G. Arce 「国際私法」 第三版 グアダラハラ市  
1940

Guillermo Gallardo Vázquez 「国際私法の発展」メキシコ  
市 フス出版社 1943

Manuel Porrúa 書店発行「国際私法の理論哲学的基礎」メ  
キシコ市 1960

Enrique Helguera 「商社会社の国籍」メキシコ市 1963

Enrique Helguera 「メキシコ国際私法とブスタマンテ法典」

メキシコ市 1962

Rafael de Pina 「外国人に関する法規」メキシコ市 ボータ  
出版社 1963

Javier San Martín y Torres 「国籍と居留外国人」メキシ

コ市 テール出版社 1954

José Luis Siqueiros 「メキシコにおける外国会社」大学出版  
局 1953

José Luis Siqueiros 「メキシコ憲法上の法律の抵触」メキシ  
コ市 フス出版社 1967

José Luis Siqueiros 「メキシコ国際私法及び合衆国国際私法  
の比較研究」ホループ書店 メキシコ市 1960

Eduardo Triqueros 「メキシコ国籍」メキシコ市 フス出版  
社 1940

Eduardo Triqueros 「国際私法理論の発展」メキシコ市 ポ  
リス出版社 1938

Eduardo Triqueros 「外国法の適用」メキシコ市フス出版社  
1941